



国土交通省

清水港湾事務所 100年間の主要プロジェクト

清水港 日の出地区 岸壁の改良 (老朽化対策・大型クルーズ船対応)

(2016~)



出典：国土地理院発行 2万5千分1地形図

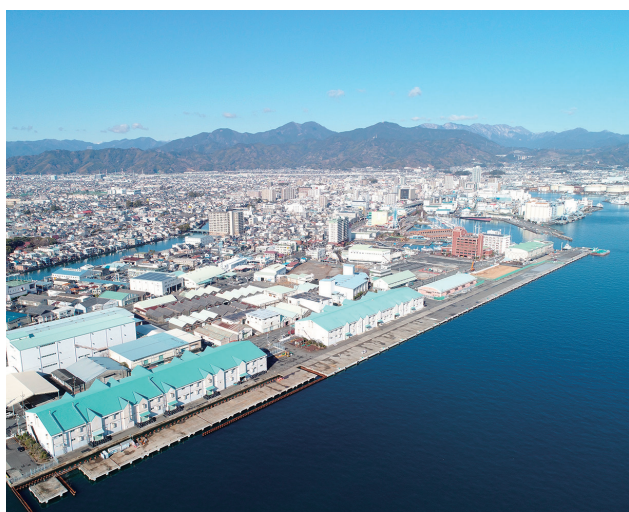
清水港では、近年、国内外のクルーズ船の寄港が増加しており、2017年(平成29年)には国際旅客船拠点形成港湾に指定されました。

クルーズ船の寄港拠点である日の出地区は、岸壁の老朽化が進んでおり、また、大型クルーズ船が着岸するために必要な水深が一部箇所不足している状況です。

こうした課題に対応し、大型クルーズ船の受入機能を確保するため、2016年(平成28年)から、日の出地区の岸壁改良工事を進めています。

工事が完成すれば、大型クルーズ船が2隻同時に着岸できるようになり、日の出地区の更なる活性化・賑わい創出が期待されます。

- 主要施設／日の出4~5号岸壁(水深12m、延長480m) (2018年3月 改良工事完成)
日の出1~3号岸壁(水深4.5~7.5m、延長340m) (2018年6月より改良工事中)
- 主な改良内容／日の出4~5号岸壁(新2号岸壁)：係船柱の大型化(35t型→200t型)、防舷材の改良
日の出1~3号岸壁(新1号岸壁)：既設栈橋の補強(深梁工法)、既設栈橋を撤去し矢板式岸壁に改良(水深12m化)
- 事業期間／2016年(平成28年)~2022年(令和4年)(予定)



清水港 日の出地区 (2021年1月)



豪華客船「クイーン・エリザベスII」が初寄港 (全長293.5m、総トン数7万トン) (1990年2月)



清水港史上最大の客船「マジェスティック・プリンセス」が初寄港 (全長330m、総トン数14.4万トン) (2019年8月)



「飛鳥II」と帆船「海王丸」の同時入港 (2018年11月)



日の出岸壁の改良状況

日の出岸壁の改良工事



係船柱の大型化

左：従来型(35t型) 右：改良後(200t型)



鋼管杭の打設工事(回転圧入工法) (2020年2月)